
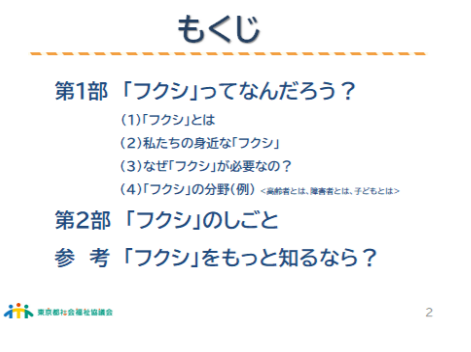
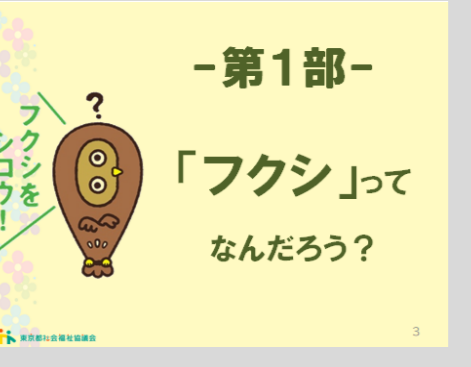

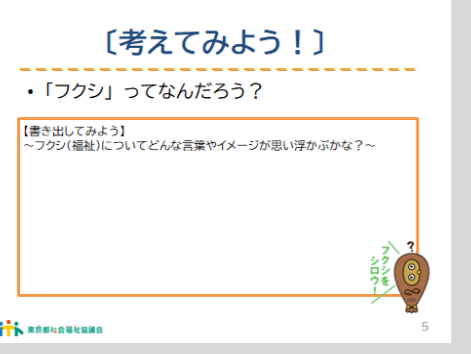



スライド ナンバー	スライド画像	テーマ	スライド名	ねらい	伝えたいこと、進め方の例	関連資料・教材
1			表紙		<p><進め方の例> ・音声や動画を放映する場合は、その準備をしておきます。</p> <p>※スライドでは「福祉」を「フクシ」とカタカナで表記していますが、この理由は、漢字から連想される特定のイメージではなく、様々な視点で捉えていただきたいからです。</p>	
2			目次	最初にこのセミナーの目標を説明し、明確化します。	<p>今日の授業の目標を説明します。</p> <p><目標例> ・身の回りにある福祉を知る。 ・福祉に関する言葉やイメージを新しく知る、理解する。</p>	
3			第1部表紙	福祉に関する基本的な内容を理解します。		
4		「フクシ」とは	1-(1)表紙			
5		「フクシ」とは	「フクシ」のイメージを書きだす個人ワーク	福祉に関するイメージを書くことで、生徒自身の考えを整理します。	<p>答えのないワークなので、自由に回答してください。</p> <p><進め方の例> ・個人ワーク(発表なし) ・個人ワーク(発表あり)</p>	
6		「フクシ」とは	福祉を表す単語の意味について	福祉を表す漢字、英語の意味を紹介することで、福祉に込められた意味を理解します。	福祉という漢字は、どちらも「幸せ」という意味を表しています。英語(welfare, well-being)では、「よりよく生きる」という意味があります。「福祉」という言葉は、世界共通で、「幸せに(前向きに)生きる」という意味があり、福祉は、日本だけでなく、世界中の人々にとって必要であり大切なことを説明します。	<p>沖縄市協ウェブサイト「福祉ってなあに？」 </p>

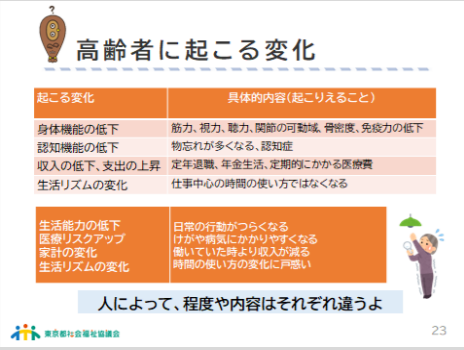

スライド ナンバー	スライド画像	テーマ	スライド名	ねらい	伝えたいこと、進め方の例	関連資料・教材
7		「フクシ」とは	SDGs17の目標の一つにも福祉がある	SDGs17の目標の一つとして、世界的に取組みが求められていることを理解します。	SDGs17の目標の3つ目に「すべての人に健康と福祉を」があり、「すべての人が心身ともに健康で、その人がより良く生きられるような社会づくりを目指そう」という内容であることを説明します。	国際連合広報センター https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/31737/
8		「フクシ」とは	福祉が表すことのまとめ	ここまでのまとめとして、福祉の意味を改めて確認します。「福祉はみんなが幸せに暮らせるために必要なこと」という考え方を理解します。	福祉とは「すべての人が幸福で安心して生活できるようにする取組みや仕組み」のことです。そのために、生活に関わる困りごとを少しでも良くすること、困っている人を支えることも福祉と言えることを説明します。	

スライド ナンバー	スライド画像	テーマ	スライド名	ねらい	伝えたいこと、進め方の例	関連資料・教材
9		身近にある「フクシ」	1-(2)表紙	ここからは、ワークを通して身近にある福祉について生徒の気づきを促します。	「みんなが幸せに暮らすために必要な福祉」は、実は身近な存在であることを伝えます。	
10		身近にある「フクシ」	ワーク身の回りのフクシを探してみよう(家の中)	ワークを通して、家の中にある身近な福祉について気づくことをねらいとしています。	<p><答えの解説例></p> <p>①階段の手すり 高齢になると、視力・筋力の衰えや運動神経の働きが低下し、転倒しやすくなります。高齢者以外にも、身体が発育中の子どもや妊娠中の方、病気やケガで治療中の方なども身体のバランスを崩しやすく転倒する危険性が高まります。そのため手すりには、あらゆる人々が転倒するのを防ぐ役割があります。</p> <p>②スマートフォンや携帯電話 メールなどの文字を音声で伝える「読み上げ機能」があり、目が見えないひとなどにとって重要な機能が備わっています。カメラの拡大機能はルーペとして使用でき、高齢者や視力の弱い方等が文字を大きくして見ることができます。</p> <p>③電気のスイッチ ボタン一つで誰でも操作できるワンタッチ機能は、指などを動かしづらい人にとって便利なデザインです。その他にも、人の動きや声などを感知して自動で点灯・消灯したり、スマートフォンのアプリと連動している電気があります。</p> <p>④水洗(蛇口) 自動センサー式の水道やトイレは手が自由に使えない人、力が弱くて蛇口をひねることができない子どもなどにとっては便利なデザインです。</p> <p>⑤シャンプー シャンプー容器の横に突起がついているものがあります。目が見えない人にとっては判断するために、重要なデザインとなっています。</p> <p><進め方の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人ワーク(発表なし) ・個人ワーク(発表あり) ・グループワークで話し合う。(発表なし) ・グループワークで話し合う。(発表あり) <p>・スライド10か、スライド11のどちらかまたは両方のワークを授業で行う。授業で実施しない方は各自で取り組む課題とする。</p>	<p>富士通「家の中のユニバーサルデザインを探そう」 https://www.fujitsu.com/jp/about/businesspolicy/tech/design/kids/ud/house.html</p> <p>【参考】 出典の上記サイトで、ワークの回答例と解説をご覧ください。</p>
11		身近にある「フクシ」	ワーク身の回りのフクシを探してみよう(外)	ワークを通して、街の中にある身近な福祉について気づくことをねらいとしています。	<p><答えの解説例></p> <p>①信号機 音声付きの信号機は目が見えない人にとって必要な情報です。</p> <p>②エレベーター、エスカレーター けがをしている人、疲れやすい人、車いすを使用している人、ベビーカーを使用している人などに必要な設備です。</p> <p>③スロープ 車いすを使用している人、ベビーカーを使用している人などに必要な設備です。</p> <p>④点字ブロック 視覚障害者にとって重要な情報です。進行方向を促す「誘導ブロック」と、階段や横断歩道などがあることを警告する「警告ブロック」の2種類があります。</p> <p>⑤自動ドア 身体障害者、力が弱い人などにとって必要な設備です。</p> <p><進め方の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人ワーク(発表なし) ・個人ワーク(発表あり) ・グループワークで話し合う。(発表なし) ・グループワークで話し合う。(発表あり) <p>・スライド10か、スライド11のどちらかまたは両方のワークを授業で行う。授業で実施しない方は各自で取り組む課題とする。</p>	<p>富士通「街の中のユニバーサルデザインを探そう」 https://www.fujitsu.com/jp/about/businesspolicy/tech/design/kids/ud/station.html</p> <p>【参考】 出典の上記サイトで、ワークの回答例と解説をご覧ください。</p>

スライド ナンバー	スライド画像	テーマ	スライド名	ねらい	伝えたいこと、進め方の例	関連資料・教材
12		身近にある「フクシ」	ユニバーサルデザイン	<p>前のワークをひまえ、普段使っている身近なモノの中に、すべての人にとって便利なものがある、「ユニバーサルデザイン」がたくさんあることを理解します。</p> <p><用語解説> ユニバーサルデザイン：障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう、都市や生活環境を設計段階から意識し、デザインする考え方。(障害者基本計画：平成14年12月閣議決定)</p>	<p>スライドに沿って、私たちが何気なく使っているものや周りには実は福祉に関係していることを説明します。</p>	<p>東京都福祉局「とうきょうユニバーサルデザインナビ」 https://www.udnavi.tokyo/</p> <p>東京都福祉局「だれでも東京」 https://www.daredemo-tokyo.metro.tokyo.lg.jp/</p> <p>東京都福祉局「ハートシティ東京」 https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/tokyoheart/</p> <p>東京都福祉局『心のバリアフリー』の実践に向けたハンドブック https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kiban/machizukuri/kokoro_handbook.html</p> <p>障害者基本計画(内閣府) https://www8.cao.go.jp/shougai/suishin/kihonkeikaku.pdf</p>
13		身近にある「フクシ」	ヘルプマークについての紹介	<p>福祉に関わる身近にあるマークの一つとして、ヘルプマークがあることを理解します。</p> <p><用語解説：ヘルプマーク> ・2012年に東京都で誕生しました。 ・義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲に配慮を必要としていることを知らせることで、助けを得やすくなるように作成されたマークです。</p>	<p>次のワークの前提知識となるスライドです。 <進め方の例> ・このマークを見たことがある人がいるか、生徒に投げかけます。 ・スライドに沿って、ヘルプマークの定義を説明します。</p>	<p>東京都福祉局「たすけあいのしるしヘルプマーク」 https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/helpmarkforcompany/about.html</p>
14		身近にある「フクシ」	ワークヘルプマークを見かけたらどうするか？を考える	<p>「電車やバスの中で、ヘルプマークを身に着けた方を見かけたらどうするか？」を考えます。ワークを通して、様々な方法があることを知り、生徒自身が実践できることを学びます。</p>	<p><進め方の例> ・MEMOの中に自分の考えを書き込む個人ワークを行います(1分程)</p> <p><答えの参考例> ・席を譲る ・手すりの近くに案内する 「何か私にできることはありますか？」など、声をかける ・駅員やまわりにいる大人に助けを求める</p> <p>※東京都福祉人材センターでは、解説時に以下の内容に触れています。 「ヘルプマークをつけている方の中には、外見では健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいます。 外見からは分からないため、優先席に座っていると不審な目で見られ、ストレスを受けることがあります。」</p>	

スライド ナンバー	スライド画像	テーマ	スライド名	ねらい	伝えたいこと、進め方の例	関連資料・教材
15	<p>(3) なぜ「フクシ」が 必要なの？</p>	なぜ「フクシ」が必要か	1-(3)表紙	福祉がなぜ必要なのか、どのような人に、どのような時に必要になるのかを考えます。		
16	<p>【考えてみよう！】 私たちの暮らしの変化。家族の人数が変わると何が起るかな？</p>	なぜ「フクシ」が必要か	ワーク なぜ福祉が必要か	現代社会では一世帯あたりの家族の人数が少なくなってきていることにより、これまで家族の中で助け合ってきたことを社会やサービスが支えていく時代になっていくことを理解します。 <福祉の意味> (再掲、スライド8を参照) すべての人が幸福で安心して生活できるようにすること、そのために生活に関わる困りごとを少しでも良くすること、困っている人を支えること。	スライドに沿って、一世帯あたりの家族の人数の変化について説明します。また、核家族化、少子高齢化に伴い、困っている人を支える福祉や福祉の仕事はますます必要になることを伝えます。	厚生労働省「厚生労働白書」 https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/
17	<p>どのような人に「フクシ」は必要？</p>	なぜ「フクシ」が必要か	どのような人に福祉が必要か	福祉が必要な人は、生徒自身も含め、「すべての人」であることに気づいてもらいます。	私たちが暮らす地域の中では様々な人が生活しています。その中には、いわゆる高齢者、障害者、子ども、生活困窮者など何らかの支援・配慮があれば安心して生活できる方や、いま困っていることを解決すれば安心して生活することができる人もいることを伝えます。	
18	<p>フクシは他人事ではない！ 誰にでもありえること…</p>	なぜ「フクシ」が必要か	フクシは他人事ではない！誰にでもありえること	福祉が必要な時は、それぞれの年齢やおかれている状況により様々であることを理解します。	スライドに沿って、長い人生の中で例えば不慮の事故にあってけがをしまったり、介護が必要になったりすること、また生活環境の変化に伴って必要な福祉も変化することを伝えます。	


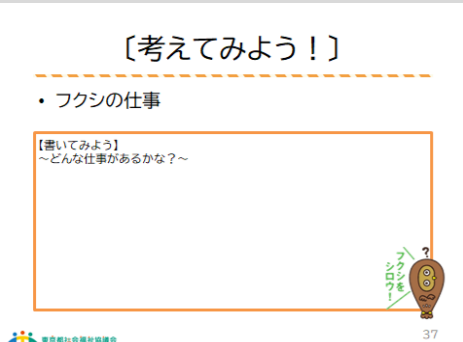
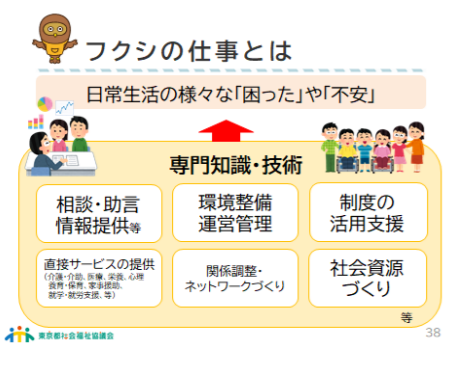
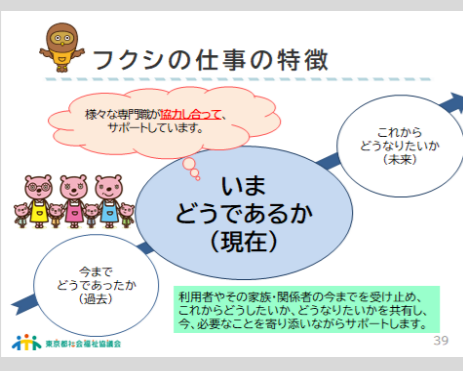
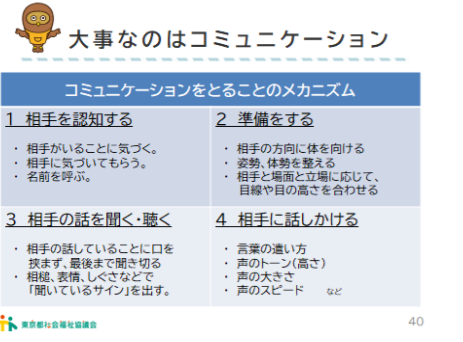
スライド ナンバー	スライド画像	テーマ	スライド名	ねらい	伝えたいこと、進め方の例	関連資料・教材
19		「フクシ」の分野	1-(4)フクシの分野例 表紙	福祉があることで日常生活がより暮らしやすくなる人の中でも、「高齢者」、「障害者」、「子ども」の3分野についてそれぞれに焦点をあてている内容です。それぞれの分野について理解を深めて、新たな気づきや発見につながります。	<進め方の例> ・「高齢者」、「障害者」、「子ども」3つの分野をまんべんなく取り上げる。 ・「高齢者」、「障害者」、「子ども」3つの分野のうち、いずれかに焦点を絞って取り上げる。	
20		「フクシ」の分野	高齢者とは 表紙			
21		「フクシ」の分野	ワーク 高齢者ってどんなイメージ？	「高齢者」という言葉から連想される言葉やイメージを思い浮かべることで、生徒自身が今どう感じているか、どう考えているかを整理します。最終的に、高齢者について学習した後にどのようなイメージの変化があったか、どのような気づきや発見があったかなどに繋がります。	中々思い浮かばない生徒がいた場合、家族、近所の人、街中で見かける人、動画やネットで見える人など身近な人を思い出してもらうと言葉やイメージが思い浮かぶかもしれません。 全ての人がまったく同じ高齢者を思い浮かべることはない(高齢者といっても様々な高齢者がいる)ということが一つのポイントになります。答えのないワークなので、自由に回答してください。 <進め方の例> ・個人ワークとして書き出す。(発表なし) ・個人ワークとして書き出す。(発表あり) ・グループワークでそれぞれのイメージを出し合う、話し合う。(発表なし) ・グループワークでそれぞれのイメージを出し合う、話し合う。(発表あり)	
22		「フクシ」の分野	何歳からが高齢者なの？	高齢者の定義を理解します。	基本的な知識として、 ①高齢者はWHOでは65歳以上と定義されていること また、高齢者は誰にとっても身近な存在であることを知ってもらうために ②高齢化が進行していること について触れます。 発展的内容として「少子高齢化」、「超高齢化社会」などについて深掘りすると、日本の社会的課題について知ることができます。誰にとっても自分事であるという気づきにつながります。	厚生労働省「e-ヘルスケアネット」 https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/dictionary/alcohol/ya-032.html 内閣府「令和4年版高齢社会白書」 https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2022/html/zenbun/s1_1_1.html




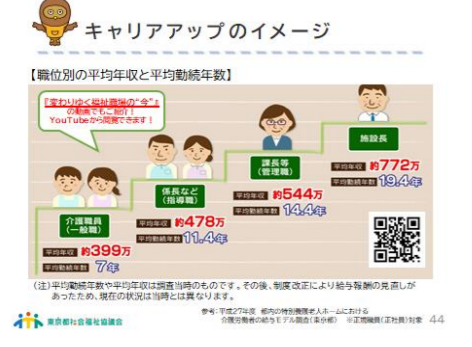
スライド ナンバー	スライド画像	テーマ	スライド名	ねらい	伝えたいこと、進め方の例	関連資料・教材																		
23	 <p>高齢者に起こる変化</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>起こる変化</th> <th>具体的な内容(起こりえること)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体機能の低下</td> <td>筋力、視力、聴力、関節の可動域、骨密度、免疫力の低下</td> </tr> <tr> <td>認知機能の低下</td> <td>物忘れが多くなる、認知症</td> </tr> <tr> <td>収入の低下、支出の上昇</td> <td>定年退職、年金生活、定額貯蓄から利息納税</td> </tr> <tr> <td>生活リズムの変化</td> <td>仕事中心の時間の使い方はなくなる</td> </tr> <tr> <td>生活能力の低下</td> <td>日常の行動がつかなくなる</td> </tr> <tr> <td>医療リスクアップ</td> <td>手がやがやがにたがたりやすくなる</td> </tr> <tr> <td>家計の変化</td> <td>働いていない身元より収入が減少</td> </tr> <tr> <td>生活リズムの変化</td> <td>睡眠が浅いものの変化に戸惑い</td> </tr> </tbody> </table> <p>人によって、程度や内容はそれぞれ違うよ</p>	起こる変化	具体的な内容(起こりえること)	身体機能の低下	筋力、視力、聴力、関節の可動域、骨密度、免疫力の低下	認知機能の低下	物忘れが多くなる、認知症	収入の低下、支出の上昇	定年退職、年金生活、定額貯蓄から利息納税	生活リズムの変化	仕事中心の時間の使い方はなくなる	生活能力の低下	日常の行動がつかなくなる	医療リスクアップ	手がやがやがにたがたりやすくなる	家計の変化	働いていない身元より収入が減少	生活リズムの変化	睡眠が浅いものの変化に戸惑い	「フクシ」の分野	高齢者に起こる変化	高齢者に起こる変化についての説明です。加齢に伴い視力や聴力の低下などの他にも様々な変化が起こることを理解します。	<p>スライドを参考に様々な変化の例を伝えます。視覚や聴覚などの身体機能面での変化もありますが、生活面や交友関係などの環境面の変化についても触れていくと新たな気づきに繋がるかもしれません。</p> <p><発展型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・車いす体験などの疑似体験。各市区町村の社会福祉協議会にて貸し出しを行っている場合もある。 ・施設訪問など高齢者との交流の機会を設ける。 	内閣府「高齢社会白書」 https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/index-w.html
起こる変化	具体的な内容(起こりえること)																							
身体機能の低下	筋力、視力、聴力、関節の可動域、骨密度、免疫力の低下																							
認知機能の低下	物忘れが多くなる、認知症																							
収入の低下、支出の上昇	定年退職、年金生活、定額貯蓄から利息納税																							
生活リズムの変化	仕事中心の時間の使い方はなくなる																							
生活能力の低下	日常の行動がつかなくなる																							
医療リスクアップ	手がやがやがにたがたりやすくなる																							
家計の変化	働いていない身元より収入が減少																							
生活リズムの変化	睡眠が浅いものの変化に戸惑い																							
24	 <p>【考えてみよう！】 こんな人があなたの周りにいたらどうする…？</p> <p>小さな文字が見えにくい 音が聞こえにくい 思うように歩けない</p> <p>MEMO</p>	「フクシ」の分野	ワーク コミュニケーションの取り方	スライドの例のような場合に、自身が当事者の立場だったらどうして欲しいのか、あるいは当事者に遭遇する場面があった際に自分がどんなことができるのか、という視点で考えることで、「人によって解決方法はそれぞれ違う」という視点や「自身にもできることがある」という気づきに繋がります。	<p><答えの参考例></p> <p>①小さな文字が見えにくい 代読する、スマートフォンの機能を使って文字を拡大する など</p> <p>②音が聞こえにくい ゆっくりはっきりした口調で話しかける、筆談にする など※大きな声が聞こえやすいとは限らないこともポイントです。</p> <p>③思うように歩けない 急かさない、見守る、など</p> <p><進め方の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人ワークとして書き出す。(発表なし) ・個人ワークとして書き出す。(発表あり) ・グループワークでそれぞれのイメージを出し合う、話し合う。(発表なし) ・グループワークでそれぞれのイメージを出し合う、話し合う。(発表あり) 																			

スライド ナンバー	スライド画像	テーマ	スライド名	ねらい	伝えたいこと、進め方の例	関連資料・教材
25		「フクシ」の分野	障害者とは 表紙			
26		「フクシ」の分野	ワーク 障害者ってどんなイメージ	<p>「障害者」という言葉から連想される言葉やイメージを考えることで、自身が今どう感じているか、どう考えているかを整理します。</p> <p>最終的に、障害者について学習した後にどのようなイメージの変化があったか、どのような気づきや発見があったかなどに繋がります。</p>	<p>答えのないワークなので、自由に回答してください。</p> <p><進め方の例></p> <ul style="list-style-type: none"> 個人ワークとして書き出す。(発表なし) 個人ワークとして書き出す。(発表あり) グループワークでそれぞれのイメージを出し合う、話し合う。(発表なし) グループワークでそれぞれのイメージを出し合う、話し合う。(発表あり) 	
27		「フクシ」の分野	障害者とは	「障害者」、「障害」の定義を理解します。	<p>障害者基本法第二条では、</p> <p>一 障害者 身体障害、知的障害、精神障害(発達障害を含む。)その他の心身の機能の障害(以下「障害」と総称する。)がある者であつて、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものをいう。</p> <p>二 社会的障壁 障害がある者にとつて日常生活又は社会生活を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のものをいう。</p> <p>と定義しています。</p> <p>「障害」は、「障害者自身」にあるのではなく、社会に障害がある、という考え方はとても重要です。</p>	<p>首相官邸東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部ウェブサイト 「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて ～2020年とその先へ～」 https://www.kantei.go.jp/jp/headline/tokyo2020/torikumi.html#menu4</p> <p>「心のバリアフリーに関するアニメーション動画」 https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/udsuisin/program.html</p> <p>障害者基本法 https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=345AC1000000084</p>
28		「フクシ」の分野	障害の社会モデル	障害の「社会モデル」の考え方を理解します。	<p>障害の「社会モデル」とは、障害や不利益・困難の原因は障害のない人を前提に作られた社会の作りや仕組みに原因があるという考え方です。障害のある人への「社会的障壁」を取り除くのは社会の責務であるという考え方を伝えます。</p> <p>スライドのイラストには、車いすの例で説明しています。段差をスロープにすると車いすを使用する人も不自由なく移動ができます。段差をなくし車いすを利用する人でも移動ができるように配慮されている社会が望ましいことを伝えます。ユニバーサルデザイン、(心の)バリアフリーにも繋がる内容です。</p>	<p>障害の社会モデル(国土交通省) https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/barrierfree/sosei_barrierfree.tk.000014.html</p>

スライド ナンバー	スライド画像	テーマ	スライド名	ねらい	伝えたいこと、進め方の例	関連資料・教材
29		「フクシ」の分野	白杖のこと	視覚障害者が使用する「白杖(はくじょう)」について理解します。	次のワークの前提知識となるスライドです。白杖はなぜ必要なのかを理解するために、実際に手元に白杖をご用意いただくと良いかもしれません。白杖は各市区町村の社会福祉協議会で貸し出しを行っている場合があります。	
30		「フクシ」の分野	ワーク 白杖を利用している人への声のかけ方	自身が当事者の立場だったらどうして欲しいのか、あるいは当事者に遭遇する場面があった際に自分ができるのか、という視点で考えることで、「人によって解決方法はそれぞれ違う」という視点や「よかれと思ってやっていたことが相手にとってそうでないかもしれない」という気づきに繋がります。	<p>障害の有無にかかわらず、コミュニケーションの取り方によっては相手に誤解を与えてしまったり、一方的になってしまうことがあります。「お困りですか?」、「何かできることはありますか?」など先入観を持たずに、当事者が何を望んでいるのか、コミュニケーションをとりながら解決していくことが望めます。一人では解決できない場合には、周囲の大人や各機関の担当(駅であれば駅員など)に協力をお願いすることも考えられます。</p> <p><進め方の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人ワークとして書き出す。(発表なし) ・個人ワークとして書き出す。(発表あり) ・グループワークでそれぞれのイメージを出し合う、話し合う。(発表なし) ・グループワークでそれぞれのイメージを出し合う、話し合う。(発表あり) 	<p>NHK「フケア」さんの森『よくある!“ありがた迷惑”な体験談』 https://www.nhk.or.jp/heart-net/wakemori/1/talk/1/</p> <p>東京都福祉局ウェブサイト「障害者差別解消に関する普及啓発」 https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/shougai/shougai_shisaku/sabetsu_ukaisho_yougo/sabekaikeihatsu.html</p> <p>文部科学省「学校生活における合理的配慮について(R2福井県)」 https://www.mext.go.jp/content/20211011-mxt_tokubetu01-000018372.02.pdf</p>
31		「フクシ」の分野	こんな伝え方もあるよ	実際に当事者の支援方法や接し方の一例を理解します。	2つの方法を紹介しています。可能であれば実際に自身が体験をすることで、新たな気づきや発見につながります。	文部科学省「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」 https://www.mext.go.jp/a_menu/shoutu/tokubetu/material/1340250_00001.htm

スライド ナンバー	スライド画像	テーマ	スライド名	ねらい	伝えたいこと、進め方の例	関連資料・教材
32		「フクシ」の分野	子どもとは 表紙	ここからは生徒自身が当事者になる話になります。今の生徒に必要なことであると同時に、自分たちが大人になってからも必要となる考え方であることを理解します。		
33		「フクシ」の分野	子どもとは	日本における子どもの福祉の原則を理解します。	児童福祉法第四条では日本に住む全ての18歳未満の人を子どもと定義しています。国籍、性別、障害の有無などは関係ありません。また、児童福祉法第二条では、全ての国民は子どもが心身ともに健やかに育成されるように努め、保護者、国及び地方自治体には、子どもが心身ともに健やかに育成されるよう責任を負うことが定められています。 (参考)児童福祉法(総則) 第一条 全て児童は、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、適切に養育されること、その生活を保障されること、愛され、保護されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の福祉を等しく保障される権利を有する。 第二条 全て国民は、児童が良好な環境において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達の程度に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。 ② 児童の保護者は、児童を心身ともに健やかに育成することについて第一義的責任を負う。 ③ 国及び地方公共団体は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う。 第三条 前二条に規定するところは、児童の福祉を保障するための原理であり、この原理は、すべて児童に関する法令の施行にあたって、常に尊重されなければならない。	児童福祉法 https://elaws.e-gov.go.jp/document?lawid=322AC0000000164 外務省「児童の権利に関する条約(全文)」 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaikou/jido/zenbun.html
34		「フクシ」の分野	ワーク 誰にどんなフクシが必要か	子どもの福祉はその子どもの成長過程や周囲の環境によって変わることへの気づきを促します。	子どもの福祉は、子どもの成長とともに変わり、子どもが生活している家庭の状況や周囲の環境によっても変化します。 <進め方の例> NO34とNO35のスライドをセットにして、説明します。 個人で、子どもたちが成長していく中でどのようなことに困ることがあるか、子どもを育てる親がどんなことに困ることがあるかなどを考えてもらいます。	東京都福祉局「東京都こども子育てお悩み相談室」 https://kodomo-smile.metro.tokyo.lg.jp/soudan/
35		「フクシ」の分野	ワーク 誰にどんなフクシが必要か	様々な人たちが子どもの福祉に関わっていることを感じてもらい、実際に困りごとを感じた時に頼り、相談できる場所があることを理解します。	一人一人の子どもに対してたくさんの大人が関わっていて、困ったときには一人で抱え込まなくても大丈夫であることを伝えます。具体的にどういった大人や社会の制度を頼ることができるかを伝えます。 <進め方の例> NO34で考えた内容をもとに、個人、または隣席の生徒やグループで、どんな人たちが子どもや子育てに関わっているかを考えてもらいます。 ワーク終了後に、「頼れる大人の例」を伝えます。 子どもの困りごとの内容によって、身近な人ほど相談しにくいことがある場合を想定して、様々な相談先の例を挙げます。 (例) ・親、家族 ・学校の先生、スクールソーシャルワーカー、部活の顧問 ・習い事でお世話になっている人 ・近所でお世話になっている人 ・匿名相談が可能な相談機関	東京都福祉局「とうきょう子育てスイッチ」 https://kosodateswitch.metro.tokyo.lg.jp/ 東京都福祉局「とうきょう子育て応援ブック」 https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/koho/ouenbook.html 東京都福祉局「東京都こどもホームページ」 https://tokyo-kodomo-hp.metro.tokyo.lg.jp/ 法務省「子ども人権110番」 https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken112.html 文部科学省「子供SOSダイヤル」 https://www.mext.go.jp/ijime/detail/dial.htm チャイルドライン https://childline.or.jp/ 認定NPO法人3keys「MEX」 https://me-x.jp/

スライド ナンバー	スライド画像	テーマ	スライド名	ねらい	伝えたいこと、進め方の例	関連資料・教材
36		「フクシの仕事」とは	第2部 表紙	福祉の仕事について理解します。		
37		「フクシの仕事」とは	ワーク 福祉の仕事とは	福祉の仕事に関するイメージを書くことで、生徒自身の考えを整理します。	<p><進め方の例> 個人ワークで、1分程度で書き出してもらいます。時間があれば、1～2名の生徒にイメージを共有してもらいます。</p>	<p>全国社会福祉協議会「ひとりひとりが社会福祉HERO's」 http://www.shafuku-heros.com/</p>
38		「フクシの仕事」とは	福祉の仕事の解説	福祉の仕事は、日常生活の様々な「困りごと」や「不安」を専門的な知識や技術をもって解決していることを知ります。	<p>福祉施設では様々な立場の人が役割分担をし、協力しながら、一人の利用者に関わっていることを伝えます。</p> <p>【職種例】 介護職員、保育士、看護師、栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、相談員、医師、ソーシャルワーカー、コーディネーター、福祉施設 の事務員、管理者、施設長</p>	<p>福祉のお仕事 https://www.fukushi-work.jp/</p> <p>東京都社会福祉協議会「ユースのページ」 https://www.tcsw.tvac.or.jp/youth/index.html</p>
39		「フクシの仕事」とは	福祉の仕事の解説	福祉の仕事の考え方や大切にしている価値観について理解します。	利用者や家族、関係者の今までを受け止め、これからどうしたいか、どうなりたいかを共有し、今の本人の思いや気持ちを大事にしながら必要なサポートをすることが、福祉の仕事の特徴です。	
40		「フクシの仕事」とは	大事なのはコミュニケーション	コミュニケーションはチームワークを發揮して仕事したり、利用者を理解するためにも、大切な手段であるということを知ります。	<p>コミュニケーション方法の一例を紹介しています。言語的なコミュニケーションだけでなく、非言語コミュニケーションも大事です。様々な人たちと関わる福祉の仕事ではコミュニケーションをとることがとても大事であることを伝えます。福祉の仕事だけでなく、日常生活でも活用できるスキルです。</p>	<p>厚生労働省「ふくしかいご.jp」 https://fukushikaigo.jp/</p> <p>※東京ボランティア・市民活動センター「教員免許取得者の介護等体験事業 学生向けガイダンス資料」より引用</p>

スライド ナンバー	スライド画像	テーマ	スライド名	ねらい	伝えたいこと、進め方の例	関連資料・教材
41		「フクシの仕事」とは	福祉の仕事の紹介	福祉業界で働いている人たちの動画を見ることで、福祉の仕事のイメージを持ちます。	<進め方の例> 時間の許す範囲で、動画の一部を放映します。	<p>東京都社会福祉協議会「見てみよう、聞いてみよう 未来を拓く福祉のしごと」 https://www.tcsw.tvac.or.jp/fukushi/movie.html</p> <p>東京都福祉人材センター 福祉職場における助成金付インターンシップ事業 「動画でわかる福祉のしごとの魅力」 https://www.fukushi-intern.jp/movie/</p> <p>NHKハートネットTV https://www.nhk.or.jp/heart-net/</p>
42		「フクシの仕事」とは	福祉の仕事の紹介	福祉の仕事は活躍できる職場・分野が幅広いことを理解します。	福祉には様々な分野があることを紹介しています。	<p>東京都社会福祉協議会「東京の介護ってすばらしいグランプリ」 https://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/grandprix.html</p> <p>東京都福祉局「ふくむすび」 https://www.fukushijinza.metro.tokyo.lg.jp/</p> <p>東京都福祉局「ハロー！エッセンシャルワーク」 https://www.fukushijinza.metro.tokyo.lg.jp/hello-essential-work/</p> <p>全国社会福祉協議会「福祉のお仕事」 https://www.fukushi-work.jp/work/</p> <p>福祉医療機構「WAMNET 福祉のしごとコーナー」 https://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/fukushiwork/</p>
43		「フクシの仕事」とは	進路のこと	福祉の仕事为例に、進路選択にあたっての考え方や方法を理解します。	福祉の仕事についての進路の選び方、進路を選択するうえでの考え方を参考として紹介しています。	<p>日本ソーシャルワーク教育学校連盟「会員校一覧」 http://socialworker.jp/group/</p> <p>日本介護福祉士養成施設協会「会員一覧」 https://kaiyokyo.net/member_data/</p> <p>全国保育士養成協議会「保育士になるには」 https://www.hoyokyo.or.jp/howto/</p> <p>東京都福祉局「ふくむすび」福祉に関する資格一覧 https://www.fukushijinza.metro.tokyo.lg.jp/www/genre/1513758993258/index.html</p>
44		「フクシの仕事」とは	高齢分野のキャリアアップと給与イメージ	福祉業界のキャリアアップの例を知ってもらうことを目的としています。	福祉の仕事の給与に関するイメージやキャリアアップの一例として、介護職のキャリアアップについて、紹介しています。動画でも紹介しています。(関連資料参照)	東京都福祉局「変わりゆく福祉職場の"今"」 https://www.tcsw.tvac.or.jp/jinzai/hukosei/index.html#movie

スライド ナンバー	スライド画像	テーマ	スライド名	ねらい	伝えたいこと、進め方の例	関連資料・教材
45		「フクシの仕事」とは	フクシ×〇〇	その他の福祉に関わる仕事の例を紹介します。		
46		「フクシの仕事」とは	フクシ×〇〇は∞	福祉の業界は様々な業界との接点があり、どんな仕事をしていても福祉とつながっていることの気づきにつなげます。	<進め方の例> 福祉×食事では福祉施設で調理師、栄養士として働くこと、福祉×スポーツではアスリートの社会貢献やパラスポーツのこと、福祉×娯楽では福祉が題材になっている漫画があることなどを紹介しています。また、今後の調べ学習用にスライドを活用することもできます。	東京都福祉人材センター「フクシ×食事」 https://www.tcsw.tvac.or.jp/jinzai/nansemi/documents/fukushi_shokuji.pdf 東京都福祉人材センター「フクシ×スポーツ」 https://www.tcsw.tvac.or.jp/jinzai/nansemi/documents/fukushi_sports.pdf 東京都障害者スポーツ協会「TOKYO 障スポ・ナビ」 https://tokyo-shospo-navi.info/ FC東京「あおぞらサッカースクール」 https://www.fctokyo.co.jp/hometown/report/ 漫画「リアル」、「光とともに」、「聲の形」、「ヘルプマン!」、「健康で文化的な最低限度の生活」、「ましろ日」等
47		参考				
48		参考			福祉や福祉の仕事に興味を持った場合、今後自分で調べ学習ができるように紹介している資料です。	東京都福祉局「ふくむすび」 https://www.fukushijinzei.metro.tokyo.lg.jp/ 東京都社会福祉協議会「ユースのページ」 https://www.tcsw.tvac.or.jp/youth/index.html 東京ボランティア・市民活動センター「ボラ市民ウェブ」 https://www.tvac.or.jp/
49		参考			スライドNo.35の資料に関連して、生徒・児童が困りごとに直面した際に、相談できる窓口を紹介しています。	